

平成25年度日本NGO連携無償資金協力

カンポット州小中学校整備事業 完成式典開催

9月30日（火）日本NGO連携無償資金協力案件「カンポット州小中学校整備事業」（供与額限度額：144,750米ドル）により建設された小中学校の完成式が、カンポット州チュムキリ郡で開催されました。右式典には、日本国大使館から和田書記官が、カンポット州からはコイ・クンホー知事が出席して祝辞を述べるとともに、地域住民約300人が参列しました。

本プロジェクトは、カンポット州チュムキリ郡トゥールプチャック小学校に1棟3教室の校舎とトイレの改修、同中学校に2棟8教室の校舎とトイレの新設、机椅子等を整備し、地域の子供たちが安心して授業を受けられることを目的として、2014年3月に贈与契約が結ばれ、本年9月に工事が完了、この度の完成式典の運びとなりました。

式典で和田書記官は、「日本政府は、教育分野においては、1990年代より小中学校の校舎建設を中心に継続的に支援しており、本案件では、老朽化が進み、安全性に問題のある校舎を使用している児童達の学習環境の向上を図ると共に、地域全体の発展を期待して学校建設の為の資金を供与し、本事業がカンボジアと日本のさらなる友好関係促進に寄与することを願う。」と述べました。コイ・クンホーカンポット州知事は、「日本は、長期に渡って教育援助分野に貢献しており、供与された教育施設を大切に使う事が日本とカンボジアの友好につながる、カンボジアにおいて支援を継続している日本国民及び政府に対して感謝の意を表します。」と述べました。続いて、和田書記官とコイ・クンホーカンポット州知事らが、テープカットを行った後、校舎内を視察し、記帳を行い式典は終了しました。



①和田書記官のスピーチ



②コイ・クンホー知事のスピーチ



③ 完成した校舎



④教室の様子



⑤テープカットの様子



⑥式典会場の様子



⑦完成したトイレと雨水タンク



⑧図書館設置用に購入した本